



# Sophia ~12月号~

## 『ころ』

国語の時間に夏目漱石の『ころ』を読んでいる。国語の教科書であれば、必ずと言っていいほどの定番教材だ。授業の進み具合は様々だと思うので、ちょっとネタバレになってしまうかもしれないがご容赦願いたい。

私が『ころ』を初めて読んだのは、中学三年生の冬であった。当時は古めかしい文章に四苦八苦し、文庫本の厚さにぐったりしながら、ようやく読み終えたのを覚えている。そんな感じだったので、内容はストーリーを追うので精いっぱいだった。もしかしたら、内容をきちんと理解していたかもあやしい。しかし、I期で高校に合格し、読書感想文の課題が「ころ」だったため、泣き言など言えない状態だった。そんな中、私は一体どんな感想文を書いたのか。実は、覚えていたりする。私は「私」（上・中編では「先生」）やKを中心に感想文を書かなかった。なぜかお嬢さん（のちの「先生」の奥さん）の視点にたった感想文を書いた。たぶん「男たちは自分勝手に人生を決めることができ、女はその巻き添えになるしかない」みたいなことを書いた。中学生が書く文章としては、なんだか鼻につくような感想文だっただろう。それが一回目の「ころ」だった。

二回目は高校二年生の時。つまりみんなと同じ立場である。一回目から二年経ち、そこそこ文章読解力もついたはずの私が、当時の国語の先生の解説のもと「ころ」を読んだ。その時の感想は、「みーんな、自己中だよなー」ってものだった。お嬢さんを手に入れる為、友達をKを騙した「私」も、後の事なんか何にも考えずに自殺したKも、「私」の気を引くためにKをだしに使ったお嬢さんも、お嬢さんの媚にしようとして「私」の下宿を許した奥さんも、みんながみんな自分の欲望に忠実だと思った。その中でも、Kは誰よりも自分の事しか考えてない奴だと思った。自殺した後、残された人々がどれほど苦しむか考えずにこの世界から逃げ出した。しかも、「私」を一生苦しめるだろうことを分かっていなかったはずがない。「私」から畏敬されていたストイックな男は、実は一番世俗にまみれた男だった。そう、Kが最も人間らしかったのだ。

でも、そんなのは別に特別なことではない。人間自分が一番かわいいものである。私がこの話で怖かったのは、どれほど「精進」を掲げ、「道」のために自分を追いつめて生きてきた人間でも、結局「欲」に勝てない、その真実だった。

私が「ころ」を教えるのは今回で二巡目である。一度目の時、どう教えるか、何を教えるかで悩みながら「ころ」を読んだ。純粋な読者としてではなく、教育者として、教材として読んだ。いろいろな気づきがあった。いろいろな読みを知った。そして今年、また「ころ」と向き合っている。なるべくまっさらな気持ちで向き合おうと思いき教科書をめくった。初めて読んでから10年以上経つ。視点はお嬢さんからK、「ころ」自身を経て、私は初めて「私」に感情移入しながら読んでいる。

みんなは「ころ」の誰に、何に注目したのだろうか。実はその事実、そのときの自分の心を映し出す鏡なのではないだろうか。そう考えると、さしずめ今の私は、エゴに潜む人間の弱さに、感化されているのだろう。

※上記は私の感想であり、授業の読みとは異なる部分があります。

担任より。

## 【12・1月行事予定】

- 12月 1日(火) 2学期期末考査(4日目)
- 2日(水) 登校指導(～8日)
- 5日(土) 土曜開放
- 12日(土) 土曜開放
- 17日(木) 2学期終業式、学習指導懇談会
- 18日(金) 冬期課外【全員】(～22日(火))**
- 23日(水) 天皇誕生日【祝日】
- 28日(月) 仕事納め【学校が開きません】(～3日)

- 1月 4日(月) 仕事始め

## **8日(金) 3学期始業式、服装頭髪検査、課題確認テスト**

## **9日(土) 進研模試【全員】**



## 【3学期は0学期!?!】

さて、期末テストが終わりました。出来はどうだったでしょうか。そんなこともうどうだっというよと、皆さんの気持ちはもうすでに楽しい未来(冬休み)へ飛び立っているかもしれませんが、しかし、ここで浮かれているはいけません。なんせ、**世の中では2年生3学期の事を、受験生0学期と呼んでいる**くらいなのです。ということは、4年制大学を目指す人はこの時期に1年生、2年生の復習をしなければ、受験生として実力が不十分です。受験なんてまだ先だと思っている人もいませんが、3年生になってからでは遅いのです。特に部活をしている人。4月になれば、新入生が入ってきて面倒を見なければなりません。そのうえで高体連の地区予選と中間テストが5月、県大会が6月、するともう期末テストで夏休みです。AOや推薦を受ける人はこの夏休み前には受験の準備をしなければなりません。そう考えると、意外と2年生3学期は余裕があると思いませんか。そして、全国の2年生はそのことを知っています。ならば、ここで勉強しなければ全国で戦えないことは明白の事実です。

部活をしている人なら分かると思いますが、地道に練習しなければ試合に勝つことはできません。勉強だって同じです。**学期毎の考査は練習試合。模擬試験は地区大会。センター試験は全国大会**です。実力がなければ勝ち上がれないのです。3学期は、それこそ模擬試験が多くあります。これから勉強を始める人にとっては、今の自分の実力を測るいい機会ですし、今まで頑張ってきた人は、どのくらい伸びたか分かる機会でもあります。ひとつひとつの機会を無駄にせず、そして**全国のライバルはもう勉強を始めているのだ**ということを肝に銘じ、日々の勉強に励んでください。



## 【これからの模擬試験日程】

- 《全員》進研模試(1月9日(土))
- 《希望》進研マーク・医療看護・公務員模試(2月6日(土))
- 全統模試(1月30日(土))